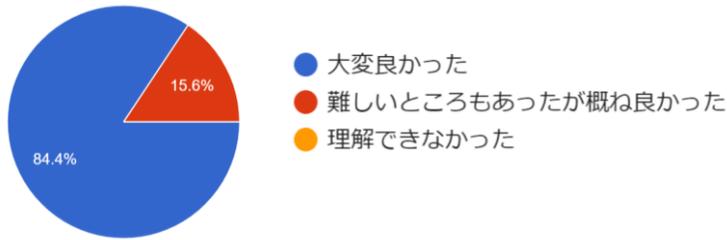
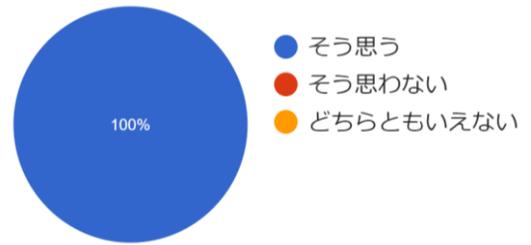


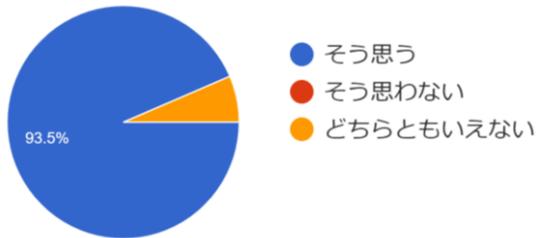
1. 講義はどうでしたか



2. 普段のコミュニケーションを振り返るきっかけになりましたか



3. 今後の業務に役立ちますか（利用者との対話を考えるきっかけになりましたか）



4. 感想

- 哲学者の工具箱を活用してのワークは難しかったがワークは楽しくて良かった。事例からの学びも良かった。（同様4件）
- 傾聴ではなく「対話」の大切さを実感することができました。「その人らしさ」を見つける事の難しさを日々感じますが、対話を通して少しずつ見つけケアに繋がられる様子ががんばりたいです。（同様1件）
- グループの皆様が話好きだったので、もう少し時間があつたらと感じました。
- 施設の中でもお看取りを積極的に行っています。ACPIはなかなか難しいですが、その人に寄り添えるように日々利用者さんに向き合いたいと考えています。
- 会話と対話の違いについて気づきました。今後相手に思いやりを持ち「対話」ができるようにしていきたいです。（同様4件）
- 先生をニックネームで呼べて楽しかったです。フランクに話せるのが良いですね。（同様5件）
- 多職種の方の考え方、同じ職種でも立場が違う方の考え方や自分は気づけなかった視点の話が聞けてとても良かったです。（同様7件）
- 会話の意味、相手が発する言葉の意味や理由などを考え、改めて対話する重要性を学びました。相手の発する言葉を振り返りながら利用者さんと関わっていきたいと思います。（同様1件）
- 自分のコミュニケーションスキルについて考えさせられました。（同様4件）
- 患者さんの気持ちに寄り添うためのコミュニケーション技術の一つだと思いました。改めて患者さんや家族の気持ちを考えるきっかけになりました。（同様2件）
- 普段の利用者との会話は対話になっているのかなと考えさせられました。明日から対話から気持ちを汲みとっていけるよう心掛けたいと思いました。（同様2件）